令和8年度　第2回　地方独立行政法人大牟田市立病院評価委員会　議事要旨

日　　時:令和8年7月29日(水)午後3時00分から午後4時8分まで
場　　所:大牟田市役所　北別館4階　第1会議室
出席委員:一宮委員長、富安副委員長、河野委員、池上委員
事務局等:森部長、龍副部長、大曲保健衛生課長ほか
　　鳥村理事長、倉本副理事長、福森理事、城戸理事、江川理事ほか

1 開　会

2 議事要旨

(1) 令和7年度の業務実績に関する評価(案)について

事務局から、資料⑤－1、⑤－2に基づき、標記評価案を説明後、質疑応答。概要については、次のとおり。

●大牟田市が災害になった場合、地域医療支援病院としてDMATを受け入れる際の訓練は行われているのか。病院のBCPは策定済とあるが、被災地になった時にどう動くかという訓練やマニュアル整備が必要だと思う。

被災地となった場合のマニュアルはあり、年１回病院全体で訓練を行っている。令和9年2月13日に行われる福岡県被災想定のDMAT訓練にあわせて当院も災害対策訓練を実施する予定である。

●いざ自院が被災した場合に備え、マニュアルや訓練等行政と情報共有しながら準備しておいてほしい。DMAT等災害支援に出ていく場合の訓練については、各種訓練を行い、実際に出動しているため対応も充分だが、能登地震で被災した病院は、いざ自院が被災すると右往左往してしまったと言っていた。改めて受け入れ態勢のマニュアルの再整備や記憶に残るような訓練が重要だと考える。

市の評価案については、妥当である。

(2)第4期中期目標の期間における業務実績に関する評価(案)について

事務局から、資料⑥－1、⑥－2に基づき、標記評価案を説明。

市の評価案については、妥当である。

(3)令和7年度財務諸表の承認について

●地方債及び定期預金等による資金の運用により収入を確保とあるが、具体的な現在の運用と今後の見通しはどうか。

地方独立行政法人法は元本保障されている有価証券以外での資産運用ができないことになっているため、１５億円を主に地方債で運用している。今は金利が上がり、債権の価値が下落しているため、今後は新しい債権の購入は難しく、定期預金の利息収入を得ることが現実的となっている。現在は５億円定期預金を行っているが、その時の経営状況に応じた運用を行い、病院の建て替えまでに資金の確保が必要だと考えている。

●地域医療構想の急性期拠点病院の中にも建替の計画や資金力を考慮するような記載もあるので、健全経営に向けて対応してほしい。

特段の意見なし。

(4)第4期中期目標期間の最後の事業年度に係る積立金の処分に係る承認について

●積立金を第５期の財源に充当することについて内容を説明してほしい。

第５期中期計画期間の病院施設・設備の整備・改修、医療機器の購入等に充てるもの。また、第５期中期期間では４年間で合計約１７億円の赤字が想定されるため、財務諸表の賃貸対照表の純資産の部「Ⅲ　利益余剰金」において、第４期中期期間の最後の事業年度に係る積立金である利益余剰金を第５期中期期間に引き継ぐことができれば、財務諸表上で累積赤字が発生しない見込みであり、是非第５期への繰越のご承認をお願いしたい。

承認において異議なし。

3 閉 会

2回にわたる評価委員会の議論を踏まえ、市としての評価結果を策定し、9月議会に報告の後、公表する予定を伝え、会議を終了した。